

指標：森林面積、森林資源の状況

1960～2000年の40年間で国土に占める森林面積の割合にほとんど変化はない。

近年の状況を詳細にみると、森林面積は微減傾向で推移しているが、森林資源(蓄積量)は着実に増加している。

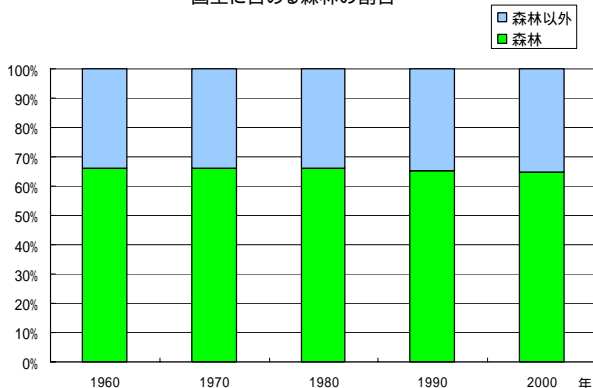
人工林、天然林別に見ると、人工林面積は微増、天然林面積は微減傾向で推移している。

人工林における蓄積量の増加が著しい。

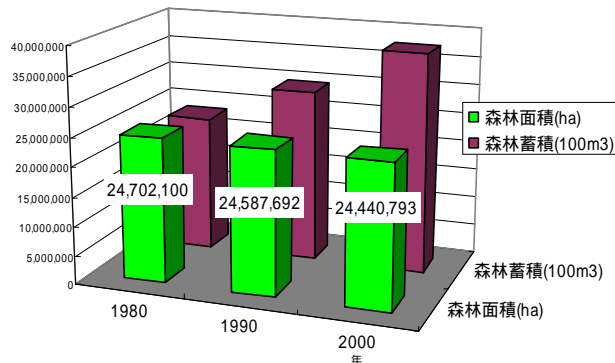
注)人工林：植林したり、種をまいたりして、人工的に育成した森林をいう。

天然林：人工林以外の森林(天然更新により成立した森林)をいう。なお、天然林を手入れしても人工林とはしない。

国土に占める森林の割合



森林面積・蓄積の推移



人工林・天然林別の面積・蓄積の推移

